

【眼の病気のおはなし】

その⑩ 流涙

涙がでて違和感を生じることを「流涙」といい、大きく二つに分けられます。

刺激がつよくて涙が出る時（症候性流涙）は原因となっている刺激の除去を行います。異物や結石のときは取り除き、角膜炎や結膜炎はその治療を行い、逆さまつげは抜去します。ドライアイによる乾燥感や角膜障害で涙が出る時（偽流涙）は涙液の補充や質の改善によって治療します。

捨てられずに溜まるとき（導涙性流涙）は涙液の排水路の障害を解決します。詰まりを取り除くことで流涙が緩和されます。加齢にともなって結膜がたるむと異物感による刺激と涙液の排水を妨げることが一緒に生じます。結膜弛緩症は症候性と導涙性の混合型流涙といえます。特殊な流涙としては涙腺腫瘍や顔面神経の異常などがあります。

流涙は原因を調べて治療すると症状を緩和できますので眼科受診をおすすめします。

